



JR 東労組水戸

JR 東労組 水戸地方本部
発行責任者 村田 祐一
編 集 情宣部担当

2026.2.23

No.42

申5号『「2026年3月ダイヤ改正」および「浜通りエリアの業務の見直し」について』団体交渉実施！①

① 「2026年3月ダイヤ改正」の目的を明らかにし、安全第一の職場風土を確立すること。また、働きやすい職場環境を構築すること。

組合：今施策の目的を明らかにすること。

会社：ダイヤ改正では、輸送体系の見直しや適正化を図り、各箇所において効率的に業務の見直しを行う。安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、安全性の向上に継続して取り組んでいく考えである。

組合：今施策提案時、車両配置と保守間合い現改比較をこれまで提案資料から参考資料に変更した理由を明らかにすること。

会社：車両配置については、新車導入や廃車等により、年度内で変更が生じる場合もあるため、今施策から参考資料に変更した。保守間合い現改比較は、列車が設定されてから確定するものであるため、車両配置と同じく参考資料に変更した。

組合：労働条件に関わることであるため、提案資料にすべきである。

会社：意見は承る。必要な資料は今後も提供する考えに変わりはない。

組合：年明け以降、大規模輸送障害によりお客さまや組合員・社員の信頼を大きく揺るがしている。会社の認識を明らかにすること。

会社：お客さまにはご迷惑をお掛けし、社員は日々対応し、努力している認識である。今後は再発防止に向け、取り組んでいく考えである。

組合：昨年9月水郡線でドアベルト故障が発生し、ワンマン運転の非連動運転を行った。修繕費削減の一環でドアベルトの交換周期を延長したことを把握した。会社の認識を明らかにすること。

会社：ドアベルトはメーカー推奨16年である。全般検査の際に交換周期を郡山総合車両センターで問題が見受けられず延長したが、昨年7月以降に故障が相次いだ。メーカーと調整を行い、昨年12月には全車両で交換を行った。

組合：安全に関わる設備の経費削減は行わないこと。

会社：水郡線のドアベルト故障や大規模輸送障害で多くのお客さまにご迷惑をお掛けした。今後も安全性向上に取り組む考えである。

② 「浜通りエリアの業務の見直し」の目的を明らかにし、乗務員の働きやすさと安全第一の職場をめざすこと。また、教育・訓練は事前に行うこと。

組合：「浜通りエリアの業務の見直し」の目的を明らかにすること。

会社：原ノ町統括センターの車掌業務をいわき統括センターに集約することで、行路作成を含む効率的な業務執行体制を構築するため、2026年3月ダイヤ改正で実施する。

組合：施策実施以降、どのような車掌運用を行うのか明らかにすること。

会社：2組の循環交番で運用を検討している。いわき統括センターの車掌は水戸駅～仙台駅間全ての列車に乗務できる教育は完了した。原ノ町統括センターの車掌は宿泊施設の見学やE501系の教育が終了した。施策実施以降、いわき駅～水戸駅間の列車で教育を行う考えである。

組合：乗務員の働きやすさと安全第一の職場をめざすこと。また、教育・訓練は事前に行うこと。

会社：今施策は大きな変化点だと認識する。安全性向上のために、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

③ 今施策における箇所体制の増減の根拠を明らかにすること。

組合：箇所体制の増減の理由を明らかにすること。

会社：ダイヤ改正における作業ダイヤ等の変更により箇所体制を見直したものである。

安全で働きやすい職場をつくり出すため、JR東労組に結集しよう！